別添１（１）

# 指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名　　：　大濠公園能楽堂

２　指 定 管 理 者　　：　株式会社西日本新聞イベントサービス

３　指　定　期　間　　：　令和６年４月１日～令和１１年３月３１日

４　施 設 設 置 目 的　　：　能楽を始めとする伝統文化を継承保存し、併せて県民文化の振興普及に寄与する。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

（１）点　検　方　法　　：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果　　：　別添のとおり

別添１（２）

## １　管理運営状況総括表

| 大項目 | 事業計画（取り組みや改善の内容等） | 管理運営の概要 |
|---|---|---|
| ①公共性（公益性の確保） | ・施設の設置目的を理解し、公平・平等性に配慮し、県民文化の向上に努める。<br>・マスコミ各方面とのネットワークを活かし、伝統芸能の普及に取り組む。 | ・能楽堂を伝統芸能の活動と鑑賞の場として常に良好な状態で提供することに努めている。<br>・障がいのある方のため、駐車スペースの確保に加え、職員がスロープや車椅子席への誘導を行っている。<br>・西日本新聞をはじめとする各種媒体を通じた能楽公演の積極的な広報により、広く能楽等伝統芸能の普及に努めている。 |
| ②施設利用及びサービス向上 | ・伝統芸能はもとより、新しい分野での活用の企画、提案等により、施設の認知度向上と利用促進を図る。<br>（目標公演数　100 件）<br>・伝統芸能の普及、活性、継承を目的に、能楽堂の空間、立地を活かした自主事業に取り組む。 | ・施設のＰＲと積極的な企画営業に取り組み、能楽をはじめとする伝統芸能の公演に加え、「キャンドルライトコンサート」や「九州大学理学部カンファレンス OP2025」の開催など他分野での活用を促進し、利用者数、施設稼働率が増加した。<br>・利 用 者 数：38,006 人(対前年度 ＋16.2%、対 R1 年度 ＋26.3%)<br>・公　演　数：84 件（対前年度 -5 件、対 R1 年度 ＋8 件）　※84 件のうち、能楽以外 25 件<br>・小中学生を対象とし、能を学び、体験する「子ども能楽教室」（14 人参加）を実施し、能楽の認知度向上に取り組んだ。<br>・伝統芸能の普及、活性化、継承を図るため、能楽の初心者向け解説を交えた低廉な有料公演「能楽入門講座」を実施した。 |
| ③経営（収支）改善 | ・稼働率の向上と自主事業の実施により、収入を確保する。<br>（目標施設利用料金収入　19,252 千円） | ・能楽公演だけでなく、その他のジャンルの公演やイベントの招聘、楽屋の部分利用等による施設利用促進を図り、利用料金の確保に努めている。<br>・利用料金収入実績：23,348 千円　（対前年度 ＋10.5%、対 R1 年度＋49.1%）<br>・県委託料（指定管理料）：32,195 千円　（対前年度 ＋11.0%、対 R1 年度 ＋260.5%） |
| ④職員確保方策及び<br>健全な財政基盤 | ・経験がある職員をマネージャーとし、利用者対応経験のあるスタッフを配置する。 | ・事業や広報等の企画営業、施設管理や利用者対応等の施設運営の担当を明確化し、それぞれ経験を積んだ職員を配置している。<br>・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。 |
| ⑤施設管理上の個別事項 | ・緊急対応マニュアルに基づく、災害、安全対策を講じる。 | ・緊急対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底と定期消防訓練（年２回）を実施している。また、建築基準法に基づく法定点検をはじめ、保守点検業務については、年間スケジュールに合わせ適切に実施している。 |

## ２　点検結果

| | |
|---|---|
| □ Ａ＋　（提案内容を上回った）<br>○ Ａ　（提案内容をやや上回った）<br>□ Ｂ　（概ね提案内容どおり）<br>□ Ｃ　（提案内容をやや下回った）<br>□ Ｄ　（提案内容を下回った） | 【総合コメント】<br>・地方新聞社グループのネットワークを活かした情報発信を行うことで、伝統芸能の普及や能楽堂の認知度向上に努めている。<br>・小中学生を対象とした「子ども能楽教室」の開催や初心者に向けた能楽鑑賞機会の提供など、伝統芸能の普及・振興に努めている。<br>・キャンドルライトコンサートやカンファレンスなど、能楽公演だけでなく、様々なジャンルのイベントを招聘するなど、利用促進に取り組み、収入確保に努めている。<br>・利用者数及び利用料金収入は前年度から 10%以上改善され、公演数は前年度と同水準を保っている。 |